

なでしこ



茨城県立内原特別支援学校
地域広報紙 第45号
平成27年 8月19日発行
水戸市鯉淵町2570番地
TEL 029-259-5813



日ごろより本校の教育活動にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
地域の小学校、中学校等の児童生徒や地域の人々との継続的な交流の中で、互いに理解と認識を深めることを目的として、地域の小学校・中学校等の児童生徒や地域の方との交流及び共同学習を行っております。9月以降には、共同避難訓練が10月6日(火)に、うちよう祭が11月21日(土)に行われます。地域の方々にご協力をいただければと思っております。今年度も地域交流紙「なでしこ」を発行しますので、ご愛読のほどよろしくお願いたします。1学期は次のような活動を行いましたので、ご紹介させていただきます。

鯉淵小学校との学校間交流「なかよし集会」 6月9日

本校の小学部の児童と鯉淵小学校の児童で、なかよし集会を行いました。
縦割り班のグループに入って自己紹介をしたり、「ハンカチおとし」や「だるまさんがころんだ」などのゲームを一緒に楽しく行いました。毎年行っているため、児童同士が自然と触れ合う姿が見られました。今後も続けていきたいと思えます。



内原フレンズ① 6月17日

鯉淵小学校、内原小学校、妻里小学校、内原中学校と本校の児童生徒と一緒にグループに分かれてレクリエーションを行いました。パラバレーンでは、気持ちをあわせて動かしたり、ボール運びゲームでは、2人組でボールを落とさないように気をつけながら行ったり、同じグループの友だちを応援したり、とても盛り上がりました。今年度内原フレンズは、2回開催します。2回目は11月に行う予定で、みんな次回を楽しみにしています。



うちとくワークステーション 7月2日

内原中学校、友部特別支援学校、水戸飯富特別支援学校の中学部生徒と本校の中学部生徒が一堂に集まり、仕事体験を行いました。うちとくワークステーションでは、さまざまな仕事を体験することで、「できた」という達成感を大切にし、仕事に対する興味関心を高め、中学部段階における職業観を育てることを目的としています。花店、ケーキ店、大工、畳店、米店、クリーニング店等、地域の商店や団体、福祉事業所の皆様にご指導いただきました。生徒たちは6つの職種の中から自分の行ってみたい職種を3つ選んで体験しました。花の寄せ植えをした生徒は「自分の好きな花を選びました。お花屋さんみたいでおもしろいです。」等の声が聞かれました。アドバイスを受けながら黙々と作業に打ち込む生徒たちの姿がとても印象的でした。作品が完成した時の表情は、自信に溢れていました。



米の計量と袋詰め



花の寄せ植え



すのこ作り



ミニ量作り



クッキー作り



ハンカチのアイロンがけ